

とやま虹の会だより

45号

2011年 2月 1日発行

介護老人保健施設レインボー
 特別養護老人ホームしらいわ苑
 訪問看護ステーションにじ
 しらいわ苑ホームヘルパーセンター
 梅の湯元気塾
 水橋介護保険相談所

市江やすらぎの郷
 中村町ぬくもりの郷
 デイサービスセンターかけはし
 LSA かけはし
 水橋北地域包括支援センター
 水橋南地域包括支援センター

発行 社会福祉法人 とやま虹の会

〒939-3535 富山市水橋新堀1 TEL076(479)2082



厄を食べ、幸せを招く
 今年もよい年で
 ありますように
 二〇一一年

御本人が四、五十年前に作られた獅子頭を
 持ってきて下さいました。



理事長 友相 彰

謹んで新年のお喜びを申し上げます。
 昨年、私達の心を痛めたのは、所在不明の高齢者が相次いで発覚されたこと。誰にも看取られず亡くなつて、何日もたつてから発見される、という痛ましい出来事が多発したことです。

私たちとやま虹の会は、地域の皆さん方とも力を合わせこのような社会現象を少しでも改善すべく、新年にのぞみたいと思ひます。

また、今年は一〇一二年に向けての介護保険法の改定が行われます。「介護の社会化」と「利用者本位」を理念に掲げた介護保険制度をより発展させる運動が求められています。皆様の一層のご支援をよろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 レインボー

施設長 黒部信也

新しい年が明けましたが、みんなでもよほど努力しないと今年を良い年にするには出来ないように思えます。特に高齢者の方々が辛い老後を送らざるを得ない姿がしばしば報ぜられるようになって胸の痛む思いをさせられることが多くなりました。そういうことを思うと私達は施設に入所しておられる方やケアに通われている方に一層元気で心穏やかに過ごしていただけるよう努力したいと思ひます。又、地域の総ての高齢者の方々が、孤独で辛い思いをせずに安心して暮らせる地域にするよう努力していきたいと思ひます。

また寒くなりますと毎年胃腸症状を起こすノロウイルス感染症やインフルエンザが心配の種になります。しかし今のところ良い予防法や良い薬が無いため、そういう菌(ウイルス)が体に入つても、免疫力で抑えて症状が出ないようにすることが必要です。栄養を取り休息と運動をして体を丈夫にしましょう。

特別養護老人ホームしらいわ苑

施設長 菅原雅秀

輝かしい新年を迎え、謹んで皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、利用目標達成に意欲的に臨んだ年でした。しかし、そうした中で、入所者の介護度の重度化や医療行為を伴う方が

増えたこと、重度認知症の方への十分な対応が出来ないことなどが職員の疲弊・ストレスに大きく関わっていることが見えてきました。そこで、介護の仕事が「感情労働」であることにも着目して、ケア体制を見直し、どうしたら現人員で介護の質を高めつつ、やりがいを持って介護に携われる環境を整えられるかの議論を重ね、新年から新しいケア体制に踏み出すことになりました。

今年、介護保険制度見直しの年でもあり、社会保障の後退を食い止める活動と共に、新しいケア体制の定着・進展を全職員、心一つにして推し進めて参りたいと思ひます。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人とやま虹の会役員

- | | |
|-------|-------|
| 理事長 | 友相 彰 |
| 専務理事 | 池田 克己 |
| 理事 | 大橋 昭昭 |
| 大橋 昭昭 | 大村 国昭 |
| 大村 国昭 | 尾富 一嶽 |
| 尾富 一嶽 | 菅原 雅秀 |
| 菅原 雅秀 | 寺西 高子 |
| 寺西 高子 | 寺主 俊子 |
| 寺主 俊子 | 北東 悟夫 |
| 北東 悟夫 | 堀田 義久 |
| 堀田 義久 | 中田 宏紀 |
| 中田 宏紀 | 稲垣 義久 |
| 稲垣 義久 | 中田 宏紀 |

しらいわ苑

思い出の一泊旅行でサプライズ



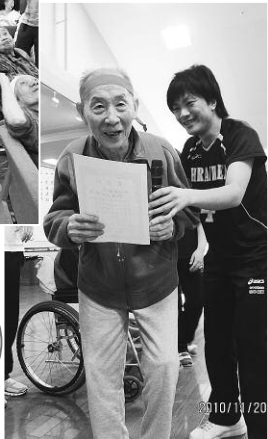
「温泉でも行きたいね。」との声から〈一泊旅行〉の企画となりました。

宿は、上市町の『つるぎ恋月』。参加者は男性入居者4名（歩行される方1名・車イスの方3名）。

ある入居者さんは奥さんと参加され結婚してからの旅行が今回初めてと知り、さらには結婚式を挙げていないとの事！そこで夜の宴会にサプライズで花束とBGMを用意し、ささやかな結婚式を開きとてもすてきな笑顔が見られ、こちらも幸せな気持ちになりました。

また、ある入居者さんの同級生が仲居さんだったり、お土産を買ったお店には娘さんが勤めておられたり…。

施設では出来ない裸の付き合い、たくさんの出会い、思い出ができた一泊旅行となりました。



風船バレー大会 (デイVSホームVSショート)

昨年度は、“明るい笑顔、元気な挨拶、目指せ！優しい介護日本一！”とキャッチフレーズを掲げて、職員一丸となって頑張ってきました。

ホームでの一泊旅行、または、ホーム・デイサービス・ショートステイ合同で行った風船バレー大会など、今までには無かった行事も行いました。

今年度も利用者・入居者の生きがい、楽しみ、喜び、笑顔を見いだす活動を提供しながらふれあいを大切にし、更に活気ある施設にしていきたいです。



しらいわ苑、 2011年は…

記念すべき第一回優勝チームは、デイサービスチーム!!

レインボーを支えてくださるボランティアの方々です

入所者を知りました。入所者



長棟美知子さん

ボランティアのきつかけを長棟さんは『元保育園の園長をしてきた経験を生かし、何かできることを模索していた時新聞での募集を知りました。入所者

このように深い愛情を持って入所者を包み込んで下さるお二方はレインボーの宝です。

一人ひとりの良さや興味を引き出すことで自分の力を発揮できる場所だと思います。』と、谷口さんは『実母がレインボーに入所していた頃は、協立病院で薬剤師として忙しく働いて何も出来なからったから、今恩返しのためでここへ来ています。』と、どちらも慈愛に満ちた笑顔で答えて下さいました。



谷口捷子さん

レインボーデイケア 忘年会

利用された方への感謝の気持ちを込め忘年会を行いました。忘年会ではおやつとして、焼きそばと日替わりで、ケーキ、おかし、鈴カステラを用意し、焼きソバは当日利用された方に手伝っていただきました。出し物は、ハンドベル、職員のみさこい踊り、マジックショー、詩吟を日替わりで楽しんでいただき、感動して涙しておられる方、手を振ってくださる方もおられました。終わりに、利用者さんの写真をまとめたDVDをみなさんに見てい



ただき、一年を振り返りました。今年はいろいろあったけど、来年はいい年になれば」と語ってくださる方もおられました。当日ボランティアに来てくださった方、当日利用してくださった方のお陰でもとても良い忘年会になりました、ありがとうございます。平成二十三年度もレインボーデイケアでは、いろいろな企画を行うていきますので、引き続きよろしくお願い致します。



★「初釜茶会」～初春の私服★

平成23年1月6日に毎年恒例の初釜茶会を大家の斉藤家のお座敷をお借りし午後2時より行いました。

斉藤さんの細やかな気遣いを頂き、皆さん少々緊張されながらも風格あるお屋敷の雰囲気を楽しみながら、辻占の干菓子に歓声が聞かれるなど、お茶とお菓子を和やかに味わっていらっしやいました。

今回は、利用者さんに職員の着付けをお願いしたところ、皆さん張り切ってお手伝いしていただきました。参加者全員での手作り茶会でした。



市江やすらぎの郷



デイサービスかけはし

★ 虹色のかけはし ★

昨年末、ある利用者さんから「あんたら（職員）の笑顔が見たくて来るがだよ」と言われ2010年の幕が降りました。心も体も元気になるためには「人」が重要なんです。まさに『介護は人』を象徴しているような一言でした。今年には開所5周年を迎えます。2011年も人と人をつなぐ『虹色のかけはし』になれるように、そして利用者・家族の皆様が生き生きとした生活を送れる『地域のかけはし』になれるように支援していきたいです。



2011年初詣 水橋神社

★ 待ち遠しいちゃ ★



「みんなの顔見るの楽しみ！」と毎週団らん室に集まって来られます。

LSAかけはし

ぬくもりの郷

★「笑う門には福が来る」★

ぬくもりの郷のお正月は、福笑いで始まりました。目隠しをしていると、周りからの応援と笑いが起こります。出来上がりは全員で拍手。「いい顔だね。」と、そんな声…。



そして、初詣外食会。日枝神社と御食事処サガミへ。お参りには真剣な表情です。しかし、ご飯ともなれば笑顔満載です。「おいしい。」「あったまる。」普段より多く食べられ完食！



皆さんの笑顔で新しい年の幕開けです。ぬくもりの郷は今年も元気で頑張ります！



梅の湯元気塾

★ まだまだ元気やちゃ ★

平成12年に開所して昨年10月に開所10周年を迎える事ができました。介護予防の先駆的な事業との自負を職員以上に利用者の方が強いプライドとして持っておられます。93歳～67歳と約30歳の年代差がありますが元気いっぱい！梅の湯元気塾では趣味教室として手芸・絵手紙・囲碁・籐手芸・民謡踊り等。外出会では買い物・映画・催し物・温泉・食事会や法話会・介護予防教室・誕生会等。他に食事・送迎・入浴・生活問題全般のよろず相談を行っています。



昨年12月に開催した開所10周年記念行事の様子



社会福祉法人とやま虹の会 第13回活動報告交流集会

メインテーマ

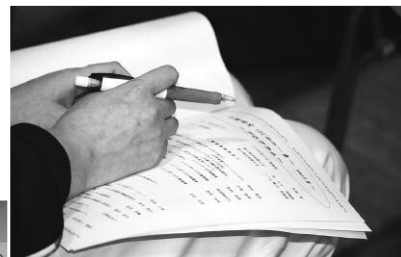
介護研究はじめての一步

～ Part II ～



笑顔で発表

平成二十二年十二月十二日(日)に開催された『十三回活動報告交流集会』には、地域の方やご家族、それに職員を含め一〇〇名の参加をいただきました。虹の会職員は、これまで事例研究の方法を指導されたことがないまま、一人ひとりが試行錯誤をしながら全体会等で症例発表を行ってきました。昨年からは、富山福祉短期大学看護学科の原元子先生と一



司会を務めた職員 阿部さん・野口さん 石倉さん

ノ山隆司先生のご指導のもと、「論文の書き方」を学び始めました。勉強会の名前は「介護研究 はじめての一步」です。半年間、交流集会で発表することを目標にしてきました。当日は、今行っている取り組みの報告や実証的データに基づくものなど十一事例の発表がありました。発表者からは、「大変だったけど頑張ったことが自信になった」「先生がたの助言が適切で論文の書き方や表現方法をすべてよかった」などがありました。



原先生



一ノ山先生



稲垣先生

又、参加者からは、「日々の仕事の中で疑問に思うことをまとめ、その結果を仕事に役立てていけると、モチベーションも高まる」「法人内の様々な取り組みを聞ける貴重な機会」など、「継続は力なり」

★さあ、心新たに出発★

私たちは、利用者の命と暮らしを支えるために、共に学びます。

介護現場への
再就職支援セミナー
参加費無料

2月 24(木) 25(金)

介護の現場で仕事をしてみませんか？
介護の現場で仕事をしてみませんか？
子育てや介護などで離職したけれど、就職したいとお考えの方へ。
再就職に必要な知識や能力向上を図るセミナーを実施します。
再就職に向けてチャレンジしてみませんか！

対象者 介護福祉士 / 介護職員基礎研修 / ヘルパー 1・2級 / 看護師 / 准看護師 / 保健師

申込締切 平成23年2月15日まで

◆日程・その他◆
開催時間 ● 10時00分～15時00分(受付:9時30分～9時55分) しらいわ苑会議室)
第1日目 ● 2月24日(木) / 求められるコミュニケーション力と最新の看・介護技術
第2日目 ● 2月25日(金) / 各施設で利用者の方々とふれあう1日介護実習
会 場 ● 介護老人保健施設 レインボー(富山市水橋新堀1)
特別養護老人ホーム しらいわ苑(富山市水橋新堀17-1)

【主催】 社会福祉法人 とやま虹の会 お問合せフォームからお申込みできます。
とやま虹の会 **検索**

●問い合わせ先 担当 / 鹿熊・池田 TEL : 076-479-2082 FAX : 076-479-2078

第13回 とやま虹の会活動報告交流集会 介護研究 はじめての一步 ~Part II~



発表を終えて (先生がたと発表者・共同研究者)